

行政評価委員会・市民参加ワークショップの役割・位置づけ

行政評価委員会について

市の施策・事業等を第三者の視点で評価する札幌市の附属機関で、市役所外部の専門家から構成されています。

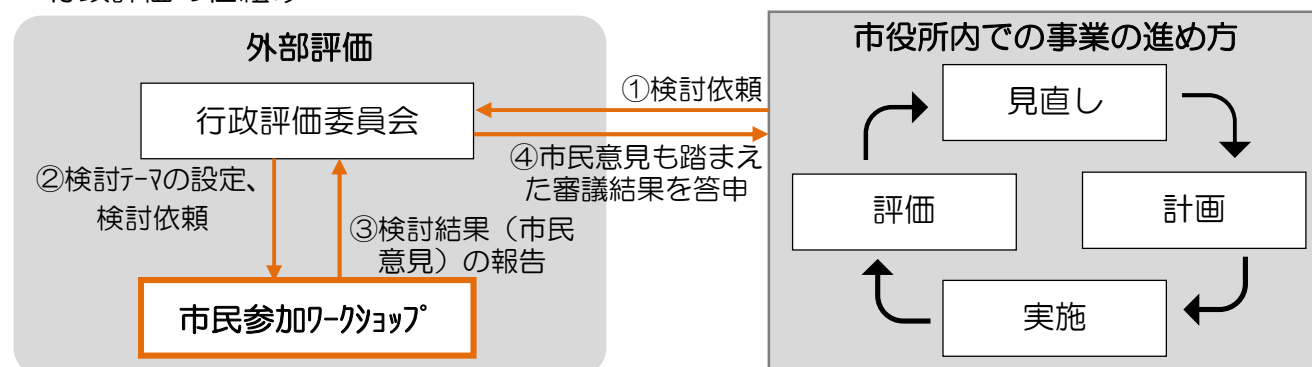
札幌市が行う事業の必要性や効果、課題や改善策について、行政では気づかない点について審議・評価するのがその役割です。評価の結果は、事業の見直し・改善に活用されます。

市民参加ワークショップについて

行政評価委員会で審議するテーマの中から、特に市民生活と関わりが深く、**市民目線・市民感覚で議論することが必要と考えられるテーマについて、一般市民の方々からご意見をお聞きするために実施するものです。**

市民ワークショップで出された意見は、行政評価委員会での審議に活用されます。

■行政評価の仕組み



行政評価 市民参加ワークショップにおける検討テーマ選定理由

地球温暖化が原因と言われている大雨による洪水被害、炎暑が日本各地で起こっており、世界でもさまざまな異常気象による災害が生じています。

地球温暖化の主な原因は、二酸化炭素（CO₂）をはじめとする温室効果ガスの排出量増加であるとされており、CO₂ をなるべく出さない脱炭素社会を実現することは、世界共通の目標です。

このような状況を踏まえ、札幌市では「環境首都・札幌」を掲げ、2030 年には CO₂ をはじめとする温室効果ガスの排出量を 1990 年排出量から 25%削減するという目標を設定しています。

また、札幌は日本全国と比べ、市民生活・企業活動における冬季間のエネルギー使用量が高いことなどから CO₂ 排出の割合が大変高いまちであり、CO₂ 排出削減のためには、市民・企業による取組が不可欠です。

このような観点を踏まえ、札幌市行政評価委員会では、市民ワークショップで検討いただくテーマとして「**市民・企業による CO₂ 削減の取組の推進**」を設定いたしました。

市民参加ワークショップについて

ご検討いただくこと

検討テーマ「**市民・企業による CO₂ 削減の取組の推進**」に則り、次のことについてご意見をいただきたいと思います。

第 1 回ワークショップ（8 月 25 日〔土〕）：

市民・企業による CO₂ 削減に関する課題の提起・抽出

第 2 回ワークショップ（9 月 9 日〔日〕）：

課題を解決するために、市民・企業・行政はどのような取組を行うべきか

第 1 回ワークショップまでをお願いしたいこと

1. 本説明資料をよくお読みください

ワークショップでは、説明や質疑応答の時間はなるべく短くして、皆様からアイデア・ご意見をいただく時間を長くとりたいと考えています。そのため**お送りした資料をよくお読みください。**

2. 「希望サブテーマ・事前質問 調査票」をお送りください

同封した「希望サブテーマ・事前質問 調査票」に下記を記入の上、**8 月 22 日（水）までに到着するようにご返信ください。**

①検討いただくに当たって、いくつかのサブテーマごとにグループを分けます。**どのサブテーマについて検討したいかをお書きください。**

②送付した資料等を読み、検討テーマや札幌市の取組、行政評価、ワークショップについて**ご質問・疑問点があればお寄せください。**第 1 回ワークショップにて回答します。

3. 第 1 回ワークショップで出す意見を考えておいてください

「市民・企業が CO₂ 削減に取り組むに当たっての課題や、CO₂ 削減のために行うべき工夫」について考えておいてください。事前質問票でお送りいただく必要はありません。

ワークショップの進め方

- ご参加の皆様には 7～8 名程度のグループに分かれていただき、専門のテーブルファシリテーター（司会者）の司会・進行により、話し合いを行っていただきます。
- 模造紙やふせん、シールなどを使った作業を通じて、気軽な雰囲気の中、話し合いを進めていきたいと考えています。